

2020年 9 月27日実施

令和 2 年度 (第 63 回)  
情報処理検定試験  
〈ビジネス情報部門〉  
第 1 級 試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は11ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. 処理速度に差のある主記憶装置とハードディスク装置の間に置くことで、データを効率よく転送でき、転送速度を高める記憶装置。
2. システムに対するテスト手法の一つで、内部構造は考慮せず、入力データに対して想定した出力結果が得られるかを確認するテスト。
3. データベースにおいて、更新処理の途中で障害が発生した際、更新処理直前のジャーナルファイルを用いて、更新直前の状態に戻し、データの整合性を保つこと。
4. Webサイトを閲覧した際、ユーザIDやアクセス履歴などの情報がユーザの端末に保存されるしくみ。ユーザの利便性向上や企業のマーケティング活動のために利用される。
5. 電子メールや電子商取引などを行う際、送信元の確認や送信途中でデータが改ざんされていないことを証明するための技術。

解答群

- |                |           |                |
|----------------|-----------|----------------|
| ア. キャッシュメモリ    | イ. デジタル署名 | ウ. ホワイトボックステスト |
| エ. VoIP        | オ. 認証局    | カ. Cookie      |
| キ. ディスクキャッシュ   | ク. MIME   | ケ. ロールフォワード    |
| コ. ブラックボックステスト | サ. ロールバック | シ. MIPS        |

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. 完全性                      2. SMTP                      3. フェールソフト  
4. NAT                              5. 共有ロック

<B群>

- ア. TCP/IPを利用したネットワークにおいて、電子メールを送信・転送するために用いるプロトコル。
- イ. データベースにおけるアクセス制御機能の一つで、他のトランザクションからデータの参照や更新、削除を禁止するロック。
- ウ. LAN内のコンピュータがインターネットへアクセスする際、プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを相互に変換する技術。
- エ. コンピュータシステムを評価する指標の一つで、システムが要求された処理を継続して実行できることを表したもの。稼働率が用いられる。
- オ. システムに障害が発生した際、正常に稼働する部分だけでシステムを運用し、システムへの影響を最小限にとどめて稼働を続けることを優先する設計思想。
- カ. インターネット上のグローバルIPアドレスと、組織名や国別コードなどで構成されるドメイン名を相互に変換する技術。
- キ. TCP/IPを利用したネットワークにおいて、電子メールをサーバ上で管理し、さまざまな端末からメールの内容の確認や削除することができるプロトコル。
- ク. コンピュータシステムを評価する指標の一つで、システムやデータに破損がなく、正確かつ最新の状態でデータの一貫性が保たれていることを表したもの。
- ケ. データベースにおけるアクセス制御機能の一つで、他のトランザクションからデータの参照のみを許可するロック。
- コ. システムに障害が発生した際、システムを停止してでも利用者への被害を最小限に抑えることを優先する設計思想。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、5. については数値を答えなさい。

1. システム開発を行う際、基本設計からテストまでの工程を上位から順に進め、原則として前の工程に戻らない開発手法。比較的大規模なシステム開発に向いている。

ア. スパイラルモデル      イ. プロトタイプングモデル      ウ. ウォータフォールモデル

2. 自然災害や人為的ミスなどによりコンピュータシステムへの電源供給が止まった際、一定の時間、電源を供給する装置。システムの管理者などはこの時間を利用して、システムを安全に停止させることができる。

ア. UPS      イ. DMZ      ウ. SSL

3. 実現の可能性などにしばられず、自由な意見を集めることにより、新しいアイデアの創出を期待する会議の手法。「批判禁止」、「自由奔放」、「質より量」、「便乗歓迎」という四つのルールがある。

ア. KJ法      イ. ブレインストーミング      ウ. PPM分析

4. 次の表の仕様である磁気ディスク装置の記憶容量は何GBか。ただし、1GB=10<sup>9</sup>Bとする。

1シリンダあたりのトラック数	10
1面あたりのトラック数	2,000
1トラックあたりのセクタ数	右の表のとおり
1セクタあたりの記憶容量	3,000B

トラック番号	セクタ数
0~1,499	300
1,500~1,999	200

ア. 12.0GB      イ. 16.5GB      ウ. 18.0GB

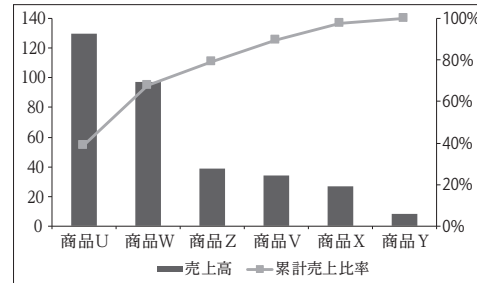
5. 200Mbpsの通信回線を使用して2.7GBのファイルをダウンロードするのに2分要した。この通信回線の伝送効率を求めなさい。なお、その他の外部要因は考えないものとする。ただし、1GB=10<sup>9</sup>Bとする。

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表とグラフは、ある店の1か月の売上高と累計売上比率である。ABC分析を用いて分析したものとして、適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、累計売上比率が70%以下はA群、70%を超え90%以下はB群、それ以外はC群とする。

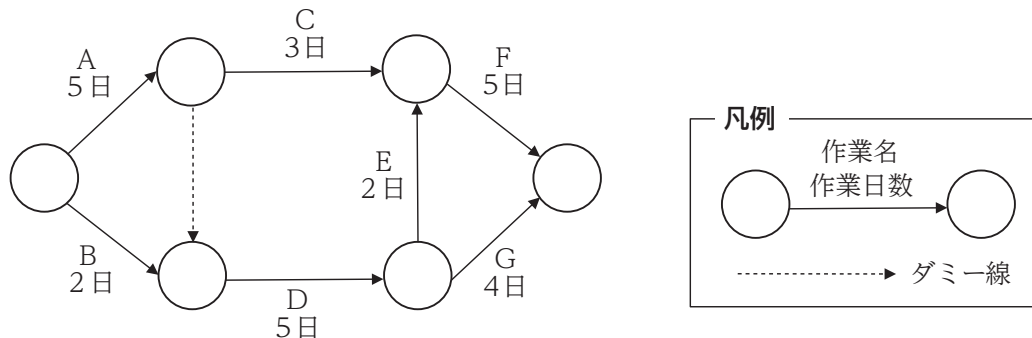
単位：万円

商品名	売上高	累計売上高	累計売上比率
商品U	130	130	39%
商品W	97	227	68%
商品Z	39	266	79%
商品V	34	300	90%
商品X	27	327	98%
商品Y	8	335	100%



- ア. C群に属する商品Yは、売上高の合計に占める割合が小さいので、主力商品として重点管理する必要がある。
- イ. A群に属する商品Uは、売上高の合計に占める割合が大きいため、主力商品として重点管理する必要がある。
- ウ. A群に属する商品Uは、売上高の合計に占める割合が大きいため、非主力商品として重点管理から除外する。

問2. 次の図は、あるプロジェクトのアローダイアグラムである。このプロジェクトが完了するまでの最短の所要日数として適切なものを選び、記号で答えなさい。



- ア. 11日
- イ. 14日
- ウ. 17日

問3. 次のようなネットワーク設定がされているコンピュータA～Dについて、コンピュータAと同一のネットワークとなるコンピュータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

コンピュータA～DのIPアドレスの設定

コンピュータ	IPアドレス
コンピュータA	172. 16.192.127
コンピュータB	172. 16.224.127
コンピュータC	172. 16. 64.127
コンピュータD	172. 16.127.192

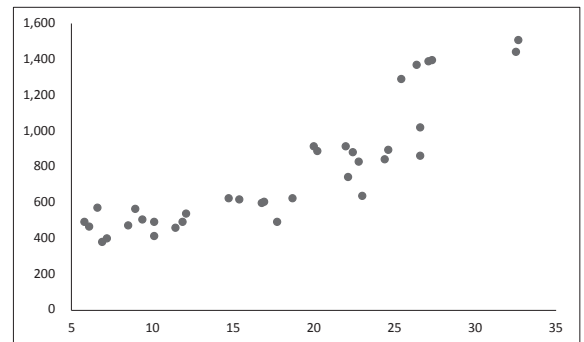
コンピュータA～Dのサブネットマスクの設定：255.255.192.0

- ア. コンピュータB
- イ. コンピュータC
- ウ. コンピュータD

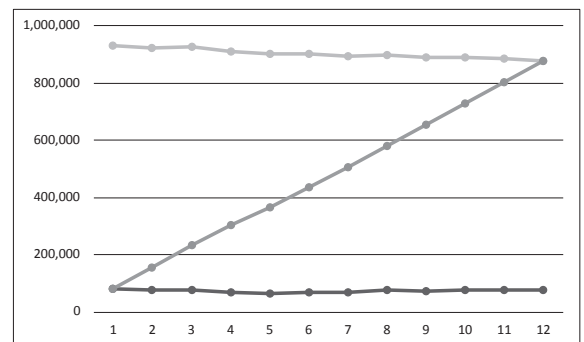
問4. 測定などで得たデータをいくつかの階級に分け、各階級に属する測定値の出現個数をグラフ化し、視覚的にとらえて分析を行うために用いる図の名称と、図として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- (1) **名称** ア. ヒストグラム  
 イ. 特性要因図  
 ウ. 散布図

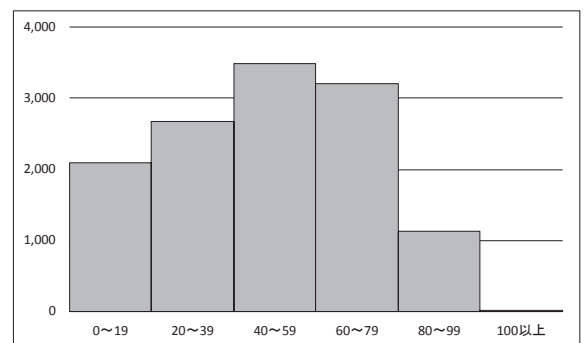
- (2) **図** ア.



- イ.



- ウ.



問5. BPRを説明している次の文章のうち適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 企業が顧客との良好な関係を築くため、顧客情報を組織全体で一元的に管理するしくみ。企業の持つ膨大な顧客データを基に分析することで、さまざまな顧客のニーズを的確に捉え、商品やサービスを提供し顧客満足度の向上を目指す。
- イ. 企業が既存の業務や組織、ルールなどを抜本的に見直し、商品開発から販売、人事に関する業務など組織全体を再構築すること。業務の効率や生産性の向上、コスト削減などを目指す。
- ウ. 企業が経営資源を有効に活用するため、組織全体で一元的に管理するしくみ。製造から販売、会計処理に至るまで、企業内で情報が共有されることにより経営資源の無駄をなくし、効率的な経営活動を目指す。

- 【5】 あるハウスクリーニングサービス店では、受付業務を次のようなリレーショナル型データベースを利用し管理している。次の各問いに答えなさい。

### 処理の流れ

- ① 新規の顧客は登録手続きを行い、顧客表にデータを入力する。
- ② 顧客からの注文に応じて、受付表に注文内容を入力する。ただし、割引コードは、注文された商品が割引対象である場合、該当の割引コードを入力し、それ以外の場合、D999 を入力する。なお、一件の注文に対し、複数の割引は適用しない。
- ③ 受付表は1つの商品につき、1レコードずつ作成される。例えば、一度に2台のエアコン清掃を注文した場合、2レコード作成される。

### 顧客表

顧客番号	顧客名	住所	電話番号
}	}	}	}
5063	国見 寛	足立区△△	03-XXXX-XXXX
5064	山谷 奏大	文京区△△	090-XXXX-XXXX
}	}	}	}
5107	梅原 博子	葛飾区△△	03-XXXX-XXXX
5108	石上 海	品川区△△	070-XXXX-XXXX
}	}	}	}
5132	金田 稜	北区△△	03-XXXX-XXXX
5133	宇都 鍊	墨田区△△	03-XXXX-XXXX
}	}	}	}

### 商品表

商品番号	商品名	料金
11	エアコン清掃	16000
12	浴室清掃	20000
13	キッチン清掃	23000
14	換気扇清掃	18000
15	トイレ清掃	12000
16	エアコン・浴室セット	32000
17	キッチン・換気扇セット	38000
18	キッチン・トイレセット	32000

### 割引表

割引コード	名称	割引率
D101	エアコン夏割引	0.15
D102	エアコン冬割引	0.10
D103	浴室割引	0.07
D104	キッチン割引	0.12
D105	換気扇年末割引	0.14
D999	割引なし	0.00

### 受付表

受付番号	受付日	顧客番号	商品番号	予約日	割引コード
}	}	}	}	}	}
920	2019/12/17	5089	14	2019/12/23	D105
921	2019/12/18	5064	18	2020/01/17	D104
}	}	}	}	}	}
1830	2020/09/10	5101	17	2020/09/27	D999
1831	2020/09/11	5195	14	2020/10/02	D999
1832	2020/09/11	5108	12	2020/09/27	D103
}	}	}	}	}	}
1845	2020/09/14	5132	12	2020/10/01	D999
1846	2020/09/14	5129	13	2020/10/12	D999
}	}	}	}	}	}

- 問1. 10月の予約状況を確認するため、2020年10月1日から2020年10月31日に予約されている顧客番号と顧客名、予約日を、予約日の昇順に抽出する。次のSQL文の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT A.顧客番号, 顧客名, 予約日
FROM 顧客表 A, 受付表 B
WHERE A.顧客番号 = B.顧客番号
      AND 予約日 BETWEEN '2020/10/01' AND '2020/10/31'
```

顧客番号	顧客名	予約日
5111	内堀 仁	2020/10/01
5163	中畑 和彦	2020/10/01
5132	金田 稜	2020/10/01
}	}	}

- ア. ORDER BY 予約日 ASC  
 イ. ORDER BY 予約日 DESC  
 ウ. ORDER BY A.顧客番号 ASC, 顧客名 ASC, 予約日 ASC

問2. 過去にキッチンの清掃を注文した顧客にダイレクトメールを送るため、顧客番号と顧客名、住所を重複なく抽出する。次のSQL文の空欄をうめなさい。

```
SELECT [ ] A.顧客番号, 顧客名, 住所
FROM 顧客表 A, 受付表 B
WHERE A.顧客番号 = B.顧客番号
AND 商品番号 IN (13, 17, 18)
```

顧客番号	顧客名	住所
{ }	{ }	{ }
5064	山谷 奏大	文京区△△
5065	柳本 和宏	板橋区△△
{ }	{ }	{ }

問3. 予約日が2020年9月27日の注文に対する、顧客番号と顧客名、顧客ごとの請求金額を抽出する。次のSQL文の空欄をうめなさい。ただし、顧客ごとの請求金額は、料金の1から割引率を引いた値を掛けたものを集計して求める。

```
SELECT A.顧客番号, 顧客名, SUM(料金 * ([ ])) AS 請求金額
FROM 顧客表 A, 商品表 B, 割引表 C, 受付表 D
WHERE A.顧客番号 = D.顧客番号
AND B.商品番号 = D.商品番号
AND C.割引コード = D.割引コード
AND 予約日 = '2020/09/27'
GROUP BY A.顧客番号, 顧客名
```

顧客番号	顧客名	請求金額
5101	梶 華	38000
5108	石上 海	18600
5210	山野 愛華	12000
{ }	{ }	{ }

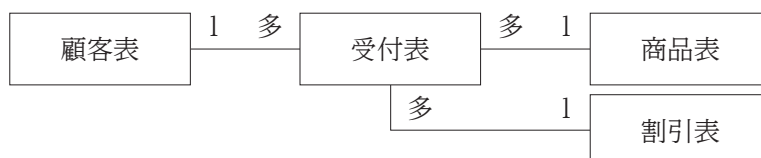
問4. 次のSQL文を実行した内容として適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 顧客名
FROM 顧客表 A
WHERE NOT EXISTS (SELECT * FROM 受付表
WHERE 顧客番号 = A.顧客番号
AND 割引コード LIKE 'D10_'
AND 予約日 >= '2020/01/01')
```

顧客名
国見 寛
中尾 静
篠田 拓也
{ }

- ア. 予約日が2020年1月1日以降で、割引の対象である商品を注文したことがある顧客名を抽出する。
- イ. 予約日が2020年1月1日以前で、割引の対象である商品を注文したことがある顧客名を抽出する。
- ウ. 予約日が2020年1月1日以降で、割引の対象である商品を注文したことのない顧客名を抽出する。

問5. 次の図は、四つの表のE-R図である。このことから参照整合性に反するため実行できないものを選び、記号で答えなさい。



- ア. INSERT INTO 商品表 VALUES (19, 'エアコン・浴室・キッチンセット', 50000)
- イ. DELETE FROM 顧客表 WHERE 顧客番号 = 5064
- ウ. DELETE FROM 受付表 WHERE 受付番号 = 1845

## 【6】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、ある食品会社のアンケート結果表である。「中央値」は、「評価」の中央値を表示する。E5に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

= (B4:B1060)

- ア. MODE
- イ. ABS
- ウ. MEDIAN

	A	B	C	D	E
1					
2	アンケート結果表				
3	試食者コード	評価			
4	S0001	8			平均値 6.3
5	S0002	5			中央値 6
6	S0003	6			最頻値 7
7	S0004	10			
8	S0005	5			
9	S0006	6			
10	S0007	7			
11	S0008	4			
12	S0009	6			
	}	}			
1054	S1051	8			
1055	S1052	8			
1056	S1053	5			
1057	S1054	8			
1058	S1055	4			
1059	S1056	5			
1060	S1057	10			

問2. 次の表は、あるスーパーマーケットの駐車場の駐車時間表と駐車料金表である。「駐車料金」は、「駐車時間」からB9の「サービス時間」を引いた時間に対し、30分毎300円の時間貸しとして計算する。ただし、「駐車時間」がB9の「サービス時間」以下の場合、「駐車料金」は 0 とする。B10に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。なお、駐車車両は入庫した日に出庫される。

=IF (B5<=B9,0, (B5-B9,TIME(0,30,0))/TIME(0,30,0)\*300)

- ア. ROUNDUP
- イ. CEILING
- ウ. FLOOR

問3. 次の表は、ある販売店の利用履歴表（8月分）である。「ポイント」は、「利用額」がそのまま「ポイント」となる。ただし、その月の利用回数が5回ごとに、その回までの利用額合計の10%を加算して「ポイント」を求める。なお、整数未満を切り捨てる。D4に設定する次の式の空欄をうめなさい。

=C4+IF ( (COUNTIFS(\$B\$4:B4,B4),5)=0,INT(SUMIFS(\$C\$4:C4,\$B\$4:B4,B4)\*10%),0)

	A	B	C	D	E	F
1						
2	駐車時間表			駐車時間割引表		
3	入庫時刻	14:15		お買い物合計	サービス時間	
4	出庫時刻	17:20		0 ~	0	
5	駐車時間	3:05		1,000 ~	1:00	
6				2,000 ~	1:30	
7	駐車料金表			5,000 ~	2:30	
8	お買い物合計	2,400		10,000 ~	4:00	
9	サービス時間	1:30				
10	駐車料金	1,200				

	A	B	C	D	E
1					
2	利用履歴表（8月分）				
3	利用日	会員番号	利用額	ポイント	累計ポイント
4	2020/8/1	20049	6,260	6,260	6,260
5	2020/8/1	20040	22,105	22,105	22,105
6	2020/8/1	20014	1,679	1,679	1,679
	}	}	}	}	}
101	2020/8/13	20036	21,775	28,143	70,049
102	2020/8/13	20022	9,130	9,130	9,130
103	2020/8/13	20040	12,014	21,875	112,843
	}	}	}	}	}
243	2020/8/31	20140	1,911	7,207	58,259
244	2020/8/31	20013	5,622	5,622	5,622
245	2020/8/31	20084	13,516	13,516	21,240



問4. 次の表は、ある電気店の大型テレビ出荷表である。G9には次の式が設定されている。「数量合計」に表される適切な値を答えなさい。

=DSUM(A3:E18,5,G3:I6)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1										
2		大型テレビ出荷表						条件		
3	伝票番号	種類	パネル性能	画面サイズ	数量		種類	パネル性能	画面サイズ	
4	1	有機E L	フルHD	49	10		有機E L	4 K	55	
5	1	有機E L	フルHD	55	6		有機E L	8 K	55	
6	1	有機E L	8 K	55	10		液晶	4 K	55	
7	2	有機E L	4 K	49	6					
8	2	有機E L	HD	55	4		数量合計			
9	2	有機E L	4 K	60	10		※			
10	2	有機E L	8 K	60	4					
11	3	有機E L	8 K	55	8					
12	3	有機E L	8 K	60	10					
13	4	液晶	フルHD	55	4					
14	4	有機E L	4 K	49	10					
15	4	有機E L	4 K	55	4					
16	5	有機E L	フルHD	49	4					
17	5	有機E L	フルHD	60	6					
18	5	液晶	4 K	55	10					

(注) ※印は、値の表記を省略している。

問5. 次の表は、ある紅茶販売店のシミュレーション表である。次の条件から「販売金額」の合計が最大となる各セットの「セット数」を求めたい。表計算ソフトウェアのデータ分析機能に設定する空欄(a)~(c)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

#### 条件

- ・ B12には次の式を入力し、D15までコピーする。  
=B\$11\*B4
- ・ E11には次の式を入力し、E15までコピーする。  
=SUM(B11:D11)
- ・ 各セットは、1セット以上販売する。
- ・ 各商品の合計は「在庫量」以下とする。

ア. (a) \$E\$15

(b) \$B\$11:\$D\$11

(c) \$B\$11:\$D\$11 >= 1

イ. (a) \$B\$11:\$D\$11

(b) \$E\$15

(c) \$B\$11:\$D\$11 >= 1

ウ. (a) \$E\$15

(b) \$B\$11:\$D\$11 >= 1

(c) \$B\$11:\$D\$11

	A	B	C	D	E
1					
2		1セットあたりの紅茶数量一覧表			
3	商品\セット	松セット	竹セット	梅セット	在庫量
4	アールグレイ	20	10	14	1,800
5	アッサム	20	20	10	2,000
6	ダーズリン	30	20	6	2,200
7	販売単価	2,000	1,400	800	
8					
9		セット数シミュレーション表			
10	商品\セット	松セット	竹セット	梅セット	合計
11	セット数				0
12	アールグレイ	0	0	0	0
13	アッサム	0	0	0	0
14	ダーズリン	0	0	0	0
15	販売金額	0	0	0	0



#### 実行結果

	A	B	C	D	E
9					
10	商品\セット	松セット	竹セット	梅セット	合計
11	セット数	39	38	45	122
12	アールグレイ	780	380	630	1,790
13	アッサム	780	760	450	1,990
14	ダーズリン	1,170	760	270	2,200
15	販売金額	78,000	53,200	36,000	167,200

パラメーターの設定

目的セルの設定:

目標値: 最大値 最小値 指定値

変数セルの変更:

制約条件の対象:

\$B\$11:\$D\$11 = 整数

\$E\$12:\$E\$14 <= \$E\$4:\$E\$6

【7】 次の表は、ある写真店の証明写真料金計算書である。作成条件および作成手順にしたがって、各問いに答えなさい。

## シート名「証明写真料金計算書」

	A	B	C	D	E	F	G
1	証明写真料金計算書						
2							
3							
4					日付	2020/9/15	
5	1. 注文内容						
6	入力欄			確認欄			
7	撮影コード	BE	撮影メニュー	基本撮影			
8							
9	縦(cm)	4.0		サイズ			
10	横(cm)	3.0		小			
11							
12	必要枚数	12		焼き増し組数	1組		
13							
14	利用可能オプション						
15	D: データ保存						
16	W: Web用データ						
17							
18	オプションコード	WD		選択可能	OK		
19							
20	重複 OK						
21	オプション内容 オプション料金						
22	Web用データ			1,200			
23	データ保存			800			
24							
25	仕上日	2020/9/15		仕上料金	1,000		
26							
27	割引コード	W02		割引内容	撮影料金10%引き		
28							
29	2. 料金計算						
30	撮影料金	1,500					
31	焼き増し料金	300					
32	オプション料金	2,000					
33	仕上料金	1,000					
34	割引料金	150					
35	料金合計	4,650					

## シート名「料金表」

	A	B	C	D	E	F	G
1	料金表						
2							
3			撮影コード	CH	BE	PR	AP
4			撮影メニュー	簡易撮影	基本撮影	特別撮影	焼き増し
5	オプションコード	オプション内容	オプション料金\撮影料金	700	1,500	2,000	0
6	D	データ保存	800	○	○	○	×
7	W	Web用データ	1,200	×	○	○	×
8	G	画像補正	1,600	×	×	○	×

## シート名「サイズ表」

	A	B	C	D	E	F
1	サイズ表					
2						
3	縦(cm)	横(cm)		サイズ	枚数/組	
4	2.0 以上4.5未満	1.5 以上3.5未満		小	6	
5	4.5 以上6.0未満	3.5 以上5.0未満		中	4	
6	6.0 以上	5.0 以上		大	2	

## シート名「割引表」

	A	B
1	割引表	
2		
3	割引コード	割引内容
4	W01	焼き増し料金50%引き
5	W02	撮影料金10%引き
6	W03	撮影料金5%引き
7	W04	オプション料金20%引き
8	W05	オプション料金8%引き

## 作成条件

1. シート名「証明写真料金計算書」の入力欄に適切なデータを順に入力すると、料金合計を求めることができる。なお、入力欄は、太罫線で囲われており、確認欄は、関数や数式が設定されたセルである。
2. 入力欄に入力された値が適切でない場合や、コードが参照する表にない場合、確認欄に NG を表示し、入力欄が未入力の場合、確認欄に何も表示しない。また、確認欄が空欄または NG の場合、その次の入力項目以降の確認欄に何も表示しない。ただし、オプションコードおよび割引コードは、利用のない場合は、未入力となり、それに対応する確認欄は空欄となる。
3. サイズは、大、中、小の三つがあり、縦(cm)と横(cm)によって決まる。また、サイズによりプリント枚数(1組)が決まっている。
4. 撮影料金は、撮影料とプリント1組の料金である。必要枚数が、サイズ表の「枚数/組」の枚数を超過している場合、超過分は焼き増し枚数となる。なお、撮影メニューが焼き増しの場合、必要枚数がすべて焼き増し枚数である。
5. オプションは、撮影メニューにより利用できるものと、できないものがあり、シート名「料金表」の ○ が利用可、× が利用不可を表している。また、利用可能オプションは、利用可のみ表示する。
6. 仕上料金は、仕上日が当日の場合、1,000円、翌日の場合、500円、翌々日以降は0円である。
7. この写真店では、割引表にある内容の割引券を発行しており、割引券を利用する場合、その割引券の割引コードを入力する。ただし、複数の割引は利用できない。
8. 焼き増し料金は、サイズに関わらず1組300円である。

## 作成手順

1. シート名「証明写真料金計算書」は、次のように作成されている。
  - (1) F4は、本日の日付を自動的に表示するための関数が設定されている。
  - (2) C7は、「撮影コード」を入力する。また、F7は、C7をもとに、シート名「料金表」を参照し、「撮影メニュー」を表示する。
  - (3) C9は、「縦(cm)」, C10は、「横(cm)」を入力する。
  - (4) F10は、C9とC10をもとに、シート名「サイズ表」を参照し、C9が該当する「サイズ」とC10が該当する「サイズ」のうち、大きい方の「サイズ」を表示する。
  - (5) C12は、「必要枚数」を入力する。また、F12は、C7が AP の場合、C12を満たす組数を表示し、それ以外の場合、F10をもとに、シート名「サイズ表」を参照して求めた「枚数/組」以内である場合、0 を表示し、超過している場合、超過数を満たす組数を表示する。
  - (6) F14~F16は、C7をもとに、シート名「料金表」を参照し、利用可能なオプションコードとオプション内容を表示する。
  - (7) C18は、必要な「オプションコード」を入力する。ただし、「オプションコード」の入力順序は問わない。
  - (8) F18は、C18のオプションコードの入力が、利用可能なオプションコードの場合、OK を表示し、それ以外の場合、NG を表示する。
  - (9) F19は、C18のオプションコードの入力に、重複がない場合、OK を表示し、それ以外の場合、NG を表示する。
  - (10) E21~F23は、C18に入力されたオプションコードを1文字ずつ抽出し、それをもとに、シート名「料金表」を参照し、列番号を利用して「オプション内容」と「オプション料金」を表示する。ただし、オプションコードの抽出は、入力順に行番号を利用して求める。
  - (11) C25は、「仕上日」を入力する。また、F25は、作成条件6にしたがって求める。
  - (12) C27は、「割引コード」を入力する。また、F27は、C27をもとに、シート名「割引表」を参照して「割引内容」を表示する。
  - (13) C30は、C7をもとに、シート名「料金表」を参照して「撮影料金」を表示する。
  - (14) C31は、作成条件8にしたがって求める。
  - (15) C32は、F21~F23の合計を求める。
  - (16) C33は、F25を参照して表示する。
  - (17) C34は、次の①に②を掛けて求める。ただし、C27が未入力の場合、0 を表示する。
    - ① F27から割引対象料金名を抽出した値をもとに、B30~C32を参照して求めた料金。
    - ② F27から割引率を抽出した値。
  - (18) C35は、C30~C33の合計から、C34を引いて求める。

「問題を読みやすくするために、  
このページは空白にしてあります。」

問 1. シート名「証明写真料金計算書」のF10に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを選び, 記号で答えなさい。

=IF(OR(F7="",F7="NG",C9="",C10=""), "", INDEX(サイズ表!E4:E6,MAX( (a) , (b) ), 1))

- ア. (a) VLOOKUP(C9,サイズ表!A4:E6,5,TRUE) (b) VLOOKUP(C10,サイズ表!C4:E6,3,TRUE)
- イ. (a) MATCH(C9,サイズ表!A4:A6,1) (b) MATCH(C10,サイズ表!C4:C6,1)
- ウ. (a) C9 (b) C10

問 2. シート名「証明写真料金計算書」のF19に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び, 記号で答えなさい。ただし, 空欄には同じものが入る。

=IF(OR(F18="",F18="NG"), "", IF(OR(LEN(C18)-LEN(SUBSTITUTE(C18,LEFT(C18,1),"")) ( ) 1, LEN(C18)-LEN(SUBSTITUTE(C18,RIGHT(C18,1),"")) ( ) 1), "NG", "OK"))

- ア. >
- イ. =
- ウ. <

問 3. シート名「証明写真料金計算書」のE21に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切なものを選び, 記号で答えなさい。ただし, この式をF23までコピーする。

=IF(OR(\$F\$19="", \$F\$19="NG", LEN(\$C\$18) < (a) ), "", VLOOKUP(MID(\$C\$18, (a) , 1), 料金表!\$A\$6:\$C\$8, (b) , FALSE))

- ア. ROW(A1)
- イ. ROW(A2)
- ウ. ROW(A3)
- エ. COLUMN(A1)
- オ. COLUMN(B1)
- カ. COLUMN(C1)

問 4. シート名「証明写真料金計算書」のC34に設定する次の式の空欄(a), (b)をうめなさい。

=IF(C33="", "", IF(C27="", 0, VLOOKUP(LEFT(F27,SEARCH("(a)",F27)), B30:C32, 2, FALSE) \*VALUE(MID(F27,SEARCH("(a)",F27)+1,SEARCH("(b)",F27)-SEARCH("(a)",F27))))

問 5. シート名「証明写真料金計算書」が次のように表示されているとき, C35に表示される適切なものを選び, 記号で答えなさい。

- ア. 4,540
- イ. 5,040
- ウ. 5,340

	A	B	C	D	E	F	G	
1								
2		証明写真料金計算書						
3								
4						日付	2020/9/27	
5		1. 注文内容						
6			入力欄			確認欄		
7		撮影コード	PR			撮影メニュー	※	
8								
9		縦(cm)	5.0			サイズ	※	
10		横(cm)	3.8					
11								
12		必要枚数	10			焼き増し組数	※	
13						利用可能オプション	※	
14							※	
15							※	
16								
17								
18		オプションコード	GW			選択可能	OK	
19						重複	OK	
20						オプション内容	オプション料金	
21						画像補正	※	
22						Web用データ	※	
23							※	
24								
25		仕上日	2020/9/28			仕上料金	※	
26								
27		割引コード	W04			割引内容	※	
28								
29		2. 料金計算						
30		撮影料金	※					
31		焼き増し料金	※					
32		オプション料金	※					
33		仕上料金	※					
34		割引料金	※					
35		料金合計	※					

(注) ※印は, 値の表記を省略している。

(令和2年9月27日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

## 令和2年度(第63回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級

## 解答用紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5
					%

小計	
----	--

【4】	問1	問2	問3	問4		問5
				名称	図	

【5】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

【6】	問1	問2	問3	問4	問5

【7】	問1	問2	問3		問4		問5
			(a)	(b)	(a)	(b)	

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和 2 年 9 月 27 日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

## 令和 2 年度 (第 63 回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第 1 級

## 審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	キ	コ	サ	カ	イ

【2】	1	2	3	4	5
	ク	ア	オ	ウ	ケ

【3】	1	2	3	4	5
	ウ	ア	イ	イ	90 %

各 2 点  
15 問

小計

30

【4】	問 1	問 2	問 3	問 4		問 5
				名称	図	
	イ	ウ	ア	ア	ウ	イ

【5】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
	ア	DISTINCT	1 - 割引率	ウ	イ

各 3 点  
10 問

小計

30

【6】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
	ウ	イ	MOD	32	ア

【7】	問 1	問 2	問 3		問 4		問 5
			(a)	(b)	(a)	(b)	
	イ	ア	ア	オ	金	%	ウ

- ※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。
- ※ 記述問題の大小字、小文字は問わない。

各 4 点  
10 問

小計

40

得点合計

100